

# いつ来てもいつ帰ってもいいキャンプ

- 催日 2019年 月10日 8月20日
- 会場 国 自然大学校日 春校 山梨県北杜市
- ディレクター名 こばりん

## ■ キャンプのねらい

子ども が作戦会 でプログラムを決めたり、テント生活をする ことを じて「生きる力」を める。

## ■ 同行スタッフ キャンプネーム

ワッシー、こばりん、ほっそー、わか、いちむー、やっち、らいす  
まいまい、まっく、まよ、まりっぺ、きのこ、あみご、よもじ  
たいごー、ごっとん、れー、たけ、りゅー、まろ、えんたー、ポン  
おりお、しお、なーみん、のんたん、ゆっきー、おきみ、パンクン  
そってー、りんりん、ななごん、まーち、きょん、りょーちゃん  
キッコロ、キャッチ、くり、ゆゆ、るん

## ■ 活動内容

- 1日目 合、日 春校到着 作戦会
- 第2日目 流しそうめん、花火、くせもの
- 第3日目 ドッジボール、カキ氷作り、パンダナ染め
- 第4日目 川 び、クラフト、アイスクリーム作り
- 第5日目 オオムラサキセンター見学、クラフト、タピオカミルクティー作り、チョコフォンデュ、盆り
- 第6日目 ひまわり 堂でのんびりタイム、り プレゼント作り
- 第7日目 室内だらごろ、オオムラサキセンター見学
- 第8日目 川 び 星空映画会、くせもの、花火アイス
- 第9日目 脱出ゲーム、アイスクリーム作り、割りばし砲作り、焼きマシュマロ
- 第10日目 BBQ、芋けんぴ、クラフト、VSカウンセラー
- 第11日目 いくつか夏祭り、日 春校出発、解散



日 春校に到着して、まずはお互いを知るためにゲームをしました。



事はひまわり 堂で べました。苦手な 菜も美味しく感じます。



自分たちで作ったそうめん台で べる流しそうめんは格別の味でした。



夜は花火で大盛り上がり。花火と同じくらい笑 が いてました。



冒 の森でドッジボール対決。熱い戦いを繰り広げました。



カキ氷作り。暑い日には格別なご です。



パンダナ染め。色々な模様をつけて素敵なパンダナが出来ました。



13日は新しいメンバーの「お出 え」をしました。



作戦会 の様子。みんな真剣な表情です。





大好きなおオムラサキセンターへ見学に行きました。



室内秘密基地づくり。みんなで相しあいながら作っていました。



盆り。ヨーヨーりや投げ、射的などを楽しみました。



盆りのピンゴ大会と抽会。どちらもいつつ参加者が1等に当。



プレゼント作り。感の思いをめで作りました。



り。自分たちで竿を作り、川でりを楽しみました。



子どもたちから大好だった朝ごはんのマフィンハンバーガー。



オオムラサキセンターでドクターフィッシュに大興奮でした。



新しいメンバーをえてのたご。みんなで美味しくいただきます。

## ■キャンプのエピソード

### 好き嫌い克服

いつつキャンプ初日の受付のときにトマトが苦手だというA子さんとをしました。「日春の菜は新でとっても美味しいから、きっとべられるよ」としながら日春に向かいました。初日の夕にトマトがたくさん使われたトマトスープが出てきました。A子さんは嫌そうなをしていましたが、恐る恐る一口べてみると、暗かった表情が一いたでスープを見ていました。そして「美味しい」と笑でてくれました。その後A子さんはスープをなんと4杯もおかわりをして満そうでした。

いつつキャンプでは、キッチンスタッフが新たな菜を用意してくれて、心をめて料理を提供してくれます。それを大勢で会を楽しみながらべます。そんな困気の中で、つい嫌いなものも箸を伸ばしてみると美味しく感じられ、好き嫌いがなくなることはよくある光景です。このいつつキャンプをきっかけに家庭でもべられるようになれば素敵だと思います。

### 一期一会

B子さんは、スタッフに手を握られながら嗚咽していました。C子さんは自分の気持ちに整理がつかず、が真っ白になっていたようです。キャンプの中盤でのお見りの後の出来事です。

2人はキャンプで仲良くなった友だちを見ったあと、「どうして自分たちは残らなければならないのか、一緒に帰れないのか」という気持ちになったことでしょうか。小学校低学年にはいできことと思います。いつつでは別れのときは急にやってきます。そしていのはいつも日春を出発する子どもたちではなく、日春に留まる参加者です。「いつつ」キャンプは「一期一会」という葉を、わかりやすく教えてくれます。翌日、また新しい仲をとの「出会い」があります。前日の別れがかったほど、新しい仲との出会いを楽しみにし、「お帰りなさい」と大きな声でえてくれます。





リポートレッキング。川を張って登りました。



砂 ダムの小さな滝。気持ちよさそうに水を浴びてました。



星空映画会。満天の星空の下でトムとジェリーを見ました。



脱出ゲーム。みんなで をひねって 答えを考えました。



お見 り。別れを惜しみつつ笑 で いってらっしゃいと見 りました。



BBQ。みんなで べたお肉や 菜 は最 でした。



小物作り。たくさんデコレーションして可愛い小物入れが完成しました。



いついつ夏祭り。チョコバナナやりんご を作って出店しました。



射的もあり、子どもたちの大行列ができるくらい大盛況でした。

## ■キャンプのエピソード

### 星空映画会

新しい夜のプログラムが出来ました。星空映画会です。星空観察は 去にも実施したことはありますが、星空映画会は初めてです。日 春校の 場にブルーシートを引き、その前に自立式のスクリーンを置き、パソコンで投影しました。まさしく星空の下での映画ら です。上映作品は上映時 を考慮して『トムとジェリー』にしました。

スクリーンを い入るように観る子ども を眺めながら、自分が幼いとき、こんな 外ら 会をした経ヨを思い出していました。しかし最 はすっかり見かけなくなりました。そして、このプログラムは日 春だからできるプログラムだと気づきました。ひとつは日中は暑いけれど、夜は涼しい事。そして夜が暗くて かな事、最後に星空が綺 なことです。そんな場所が少なくなってきたのだということ を改めて知らされました。上映終了後、少しだけ星空を眺めました。そこには 会では見られないたくさんの星たちが いていました。

### 校生ボランティア希望

いつも姉妹で参加してくれるD子さん。中学2年生の彼女はいつもお姉さんの立場で、下の子の 倒を見てくれる優しい子でした。ある日ののんびりタイムで をしていた時に彼女からこんな 問を受けました。「校生ボランティアをしたいのだが、なるためにはどうしたらいいの 」私はその 葉を聞いてとても嬉しく思いました。いついつに参加して、とても素晴らしい仲 に出会い、校生ボランティアに参加すると ってくれました。

いついつキャンプが始まってろい年月が経ちますが、このように参加者の心の中にいついつキャンプが大切な場所として刻まれ、校生ボランティアとしてまた戻ってきてくれる人が何人かいます。今後も、いついつが参加者にとっ てかけがえのないものであり続けられるようにしていきたいと強く思った、そんな出来事でした。